

# しゅぼん玉

No.440  
2021ねん  
10がつごう

にしのみやしりつとしょかん



## しってる？パンダのこと

ねん しょうわ がつ にち  
1972年（昭和47年）10月28日

ジャイアントパンダがはじめて中国から日本にやってきたよ。

### 「いちにちパンダ」

大塚健太/さく くさかみなこ/え 小学館 E3クサ

ここはパンダがだいにんきの  
どうぶつえん。でもパンダいがい  
のどうぶつはいつもたいくつ。  
トラのトラたろうも、ねころんで  
ひまつぶし。そこへ「いちにちパ  
ンダになってくれないか？」と、  
しいくいんがたのんできた。



### 「パンダのポンポン」

野中柊/著 長崎訓子/画 理論社 931ノナ

パンダのポンポンは食いしん坊  
でしょちゅう食べ物のことを  
かんがえてる。朝起きたらキッチンに  
行って冷蔵庫に「おはよう」って言  
うのが日課なんだって。



### 「教科で学ぶパンダ学」

稲葉茂勝/著 小宮輝之/監修 今人舎 489

野生のパンダは冬眠するの？ な  
ぜ数が減っているの？ 「パンダ  
外交」って何？ さまざまな視点から  
パンダについて学べるよ。パンダ  
はかせ  
博士になっちゃおう！



### 「ぼくのなまえはユウユウ」

小手鞠るい/作 サトウユカ/絵

今泉忠明/監修 講談社 931コテ

ぼくはおかあさんといっしょ  
に朝ごはんの竹を食べる。かむた  
びにとってもいいにおいがする。  
ぼくは竹の葉っぱのにおいが大  
すきなんだ。



### 「絶滅から救え！日本の動物園&水族館1 標榜場所を追われる動物たち」

日本動物園水族館協会/監修 河出書房新社 48

絶滅の危機にあるジャイアントパンダ。  
ほかにもコアラやオオアリクイなど、動物  
園には将来、地球上からいなくなっ  
てしまふかもしれない生き物たちがいる。動物  
園の取り組みを見てみよう。



パンダのしっぽの色は  
「黒」だと思っている人  
が多いようだけど、ほん  
とでは「白」だよ。





# あたらしい

えほん

## 「いたいときのおまじない」

角野栄子／作 よしむらめぐ／絵  
小学館 E3ヨシ

きょうはだれもあそんでくれない。アコはおこって、にわにころがっていたいしをけとばしたら、おおきなくまにあたった。くまのあたまにはおおきなこぶができた。「いしをけとばしたのはアコちゃんだね」くまににらまれたアコちゃんは「うん」といって、したをむいた。



えほん

## 「おおきなかべがあったとさ」

サトシン／文 広瀬克也／絵 文溪堂  
E3ヒロ

とつぜんめのまえに、おおきくて、たかいかべがあらわれた。たかくてとてもほれない。「どうしよう」さあ、どうする？ ずんずん、ずんずんすすんでいくと、さらにさらにおおきなかべがあらわれた…。「さらに、どうしよう」さあ、どうする、どうする？



よみもの

## 「コレットとわがまま王女」

ルイス・スロボドキン／作 小宮由／訳  
瑞雲舎 932スロ

ポーリーン王女は、休養のためにグラスという町へ行くことになった。雑音ひとつしないしずかな場所をもとめている王女のために、グラスの町はあたらしい法律をつくり、王女をむかえる準備で大わらわ。つぎのあさ、いよいよ王女がやって来て…。



よみもの

## 「サヨナラの前に、ギズモにさせてあげたい9のこと」

ベン・デイヴィス／作 杉田七重／訳  
小学館 932テイ

ジョージが生まれる前から、この家にいた犬のギズモは14歳。人間でいうと80歳近い高齢だ。2人は“名コンビ”、いつも一緒だった。ギズモが元気でいられる時間が少ないことを知ったジョージは、「ギズモにさせてあげたいことリスト」を作る。



しらべもの

## 「エトワール！バレエ事典」

梅田みか／構成 結布／絵 牧阿佐美／監修  
講談社 76

バレエのこと、どれくらい知ってるかな？有名な「白鳥の湖」や「くるみ割り人形」がどんなストーリーで、どういう衣装なのかを見よう！ほかにも、プロのバレエダンサーのインタビューやバレエにまつわる仕事、歴史などを紹介しているよ。



しらべもの

## 「この世界からサイがいなくなってしまう アフリカでサイを守る人たち」

味田村太郎／文 学研プラス 489

密猟者はアフリカの動物保護区に忍びこみ、サイを殺し、ツノを奪う。反対に、サイを守るために命がけで密猟者と戦う人、サイの孤児院で子供のサイを育てる人、保護区のまわりをパトロールする人たちがいる。密猟を防いで、サイを絶滅から守るために活動しているんだ。



# 本のコーナー



えほん 「**ピアトリス・ポターの物語**  
キノコの研究からピーターラビットの世界へ」

リンゼイ・H. メトカーフ／文 ジュンイ・ウー／絵  
長友恵子／訳 西村書店 **E2ヒア**

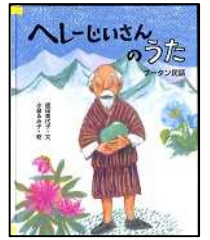
幼いころから、なんでもよく見て細かいところまでスケッチしていたピアトリス・ポター。おとなになってキノコの研究に夢中になった。研究がみとめられることはなかったけれど、学んだことをわすれずに、すばらしい絵本をつくるようになったんだ。



えほん 「**ヘレーじいさんのうた**  
フータン民話」

肥田美代子／文 小泉るみ子／絵  
文研出版 **E1ヘレ**

むかしむかし、ちいさな国のある村にヘレーじいさんがすんでいた。ある日、ヘレーじいさんがはたけをたがやしていたら、きらきらひかる大きなトルコ石があらわれた。「こいつをいちばへうりにいけば、大金もちになれるぞ。」すると、むこうからウマをつれた男がやってくる。



よみもの 「**時計がない!**」

小松原宏子／作 シライシユウコ／絵  
文研出版 **931コマ**

ミコの10歳の誕生日、世界中から時計がなくなった。ミコが大切にしているめざまし時計の「りんりんちゃん」もいない。時計がないから時刻もわからない。学校に行くと、時計がなくても時間がわかるというふしぎな転校生・時野メグミがやってきた。



よみもの 「**いぼんちゃん**」  
村上雅都／作 フレーベル館  
**931ムラ**

転校してきた理緒のお世話係を先生からたのまれ、うれしい小6の朱里。ふたりはいつもいっしょにいて、なかよくなっていく。けれども朱里は、あるできごとをきっかけに理緒のかかえている痛みや苦しみを知ってしまう。どうしたら理緒を守ってあげられる?



しらべもの 「**富岡製糸場**  
生糸がつくった近代の日本」

田村仁／写真・文 福音館書店 **63**

製糸場とは、蚕のまゆから生糸(絹糸)をつくる工場のこと。富岡製糸場は、1872年から115年もの間、生糸をつくりつづけていた。日本では明治時代から、機械技術の発展も鉄道交通の発達も、生糸の生産を中心にしてすすんできたんだ。



しらべもの 「**みんなが知りたい!**  
気象のしくみ  
身近な天気から世界の異常気象まで」

菅井貴子／著  
メイツユニバーサルコンテンツ **45**

突然大雨がふってきたり、雨が全然降らない暑い日が続いたり。世界中でおきている「異常気象」ってなにが原因? 台風に名前があるって本当? 降水確率の意味って? これを読んだら毎日の天気予報がもっと気になるかも。



# どの本にする？

～図書館の人がおすすめする本を読んでみませんか？～



期間: 10月26日(火)～11月14日(日)

場所: 中央図書館、北部図書館、鳴尾図書館、北口図書館



本のなかみがわかる、ひとことコメントつき！  
あなたは、どの本を読んでみたい？

絵本やよみもの、  
図鑑など…

いろいろな本があるよ！



※おすすめの本の数にはかぎりがあります。



中央図書館の

「ぴたりえたっち」をつかってみよう！



ぼくはロボットのSota。画面を  
タッチして、ぼくのしつものに  
こたえてね。あなたにぴたりの  
絵本をえらぶよ！



※今後、他の図書館にも登場する予定です。  
お楽しみに！

みんなの好きな絵本って、どんなの？



おはなし会の開催については各図書館にお問い合わせください。

◆中央図書館 0798-33-0189  
◆北部図書館 0797-61-1706

◆鳴尾図書館 0798-45-5003  
◆北口図書館 0798-69-3151